

第34回 和歌山県皮膚科医会学術講演会

日時：平成23年6月25日(土) 15:30～

場所：和歌山ビッグ愛 12F

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2

TEL：073-435-5200

皮膚科医以外の先生方の御参加 歓迎します
プログラム

I. 製品紹介

「皮膚科領域におけるアジスロマイシンの現状」

ファイザー株式会社

II. 和歌山県皮膚科医会医学奨励賞記念講演

座長：公立大学法人 和歌山県立医科大学皮膚科 講師 金澤 伸雄 先生

演題：

「線維組織球系腫瘍におけるCXCR4の発現の免疫組織化学的検討」

演者：公立大学法人 和歌山県立医科大学皮膚科 助教 豊澤聖子先生

III. 特別講演

座長：公立大学法人 和歌山県立医科大学皮膚科 教授 古川 福実 先生

演題：「眼から鱗の感染症

— 疥癬、ブルーリ潰瘍、ハンセン病を中心に —」

講師：国立感染症研究所ハンセン病研究センター センター長

石井 則久 先生

＜特別講演の要旨＞WHOはneglected tropical diseases (顧みられない熱帯病)として17の感染症を指定した。熱帯地方に多く、かつ貧しい人が感染し、医療の恩恵を受けられない。これらのうち、日本にも認められる皮膚感染症はハンセン病とブルーリ潰瘍である。日本での新規患者は年間数名であるが、症例数が少ない事などから診断するのに長時間を要し重症化することも多い。

自覚症のない皮疹、繰り返す外傷や熱傷などはハンセン病を鑑別する。四肢などに認める痛みの少ない潰瘍はブルーリ潰瘍を鑑別に入れ、生検やスタンプ標本での抗酸菌染色検査、培養などを行う。一方、途上国の皮膚科では疥癬患者が多い。性感染症の他、狭い家屋で多くの人が寝食を共にすることでヒゼンダニ感染は蔓延する。日本では数年後の保険適用に向けた外用薬治験が進行している。

日医生涯教育講座参加証を交付いたしますので受け付けでお受け取りください

*講演会終了後、情報交換会を予定しておりますお車でお越しの方はアルコール類はお控え下さい。

和歌山県皮膚科医会

共催 和歌山市医師会皮膚科部会 ファイザー株式会社